

IR Day 2024

富士通株式会社
Fujitsu Limited

2024年9月10日

Our Purpose

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に
信頼をもたらし、世界をより
持続可能にしていくことです。

Fujitsu Way



Fujitsu Wayを構成する3つの要素



パーパス

わたしたちのパーパスは、
イノベーションによって社会に信頼をもたらし、
世界をより持続可能にしていくことです

挑戦

- 志高くターゲットを設定し、スピード感をもって取り組みます
- 多様性を受け入れ、斬新なアイデアを生み出します
- 好奇心を持ち、失敗や経験から学びます
- ヒューマンセントリックなイノベーションにより、より良いインパクトをもたらします

大切にしている価値観

信頼

- 約束を守り、期待を超える成果を出します
- 倫理感と透明性を持って誠実に行動します
- 自律的に働き、共通のゴールに向けて協力します
- テクノロジーを活用し、信頼ある社会づくりに貢献します

共感

- お客様の成功と持続的な成長を追求します
- すべての人々に耳を傾け、地球のことを考えて行動します
- グローバルな課題を解決するために協働します
- 社員、お客様、パートナー、コミュニティ、株主に共通価値を創造します

行動規範

- 人権を尊重します
- 公正な商取引を行います
- 機密を保持します
- 法令を遵守します
- 知的財産を守り尊重します
- 業務上の立場を私的に利用しません

2030年に向けた価値創造



デジタルサービスによってネットポジティブ*を実現するテクノロジーカンパニーになる

*ネットポジティブ：財務的なリターンの最大化に加え、地球環境問題の解決やデジタル社会の発展、そして人々のウェルビーイングの向上に取り組み、テクノロジーとイノベーションによって社会全体へのインパクトをプラスにする



インプット

富士通の事業活動

アウトプット アウトカム

サステナビリティを起点とした重点戦略を実行

財務資本

人的資本

自然資本

テクノロジー・
知的資本

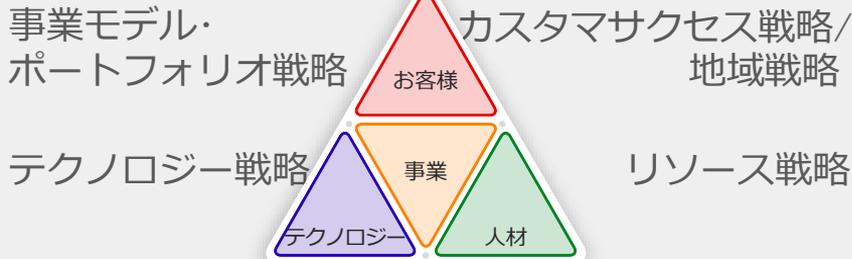
グローバルレスポンスブルビジネス



財務指標

非財務指標

重点戦略

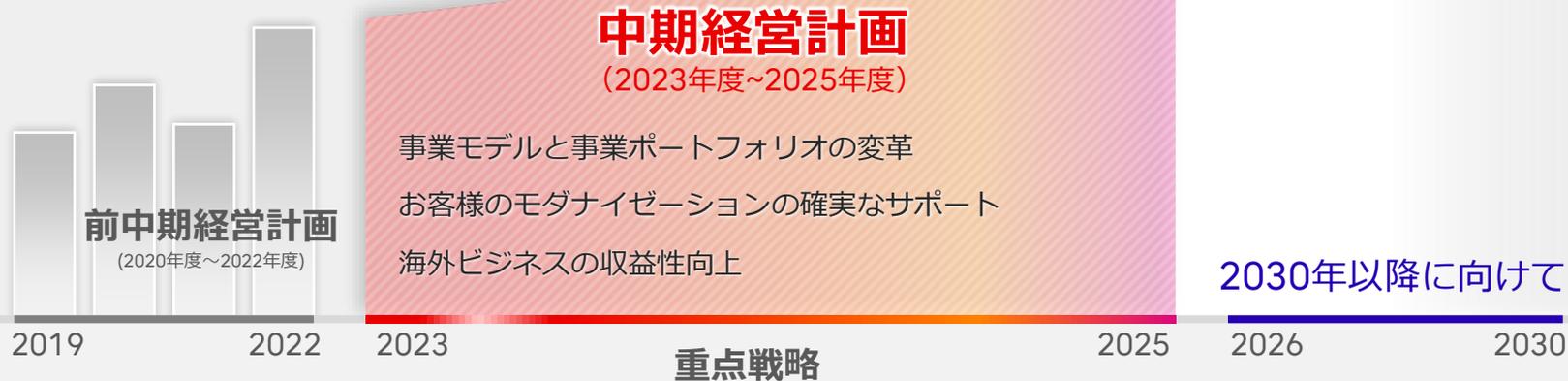


マテリアリティ

- 地球環境問題の解決
- デジタル社会の発展
- 人々のウェルビーイングの向上

中期経営計画の位置付け

2030年およびそれ以降に向けて、持続的な成長、収益力向上に向けたモデルを構築する3カ年



- 収益改善
- 企業文化・組織風土変革

- 事業モデル・ポートフォリオ戦略
- カスタマサクセス戦略/地域戦略
- テクノロジー戦略
- リソース戦略

重点戦略

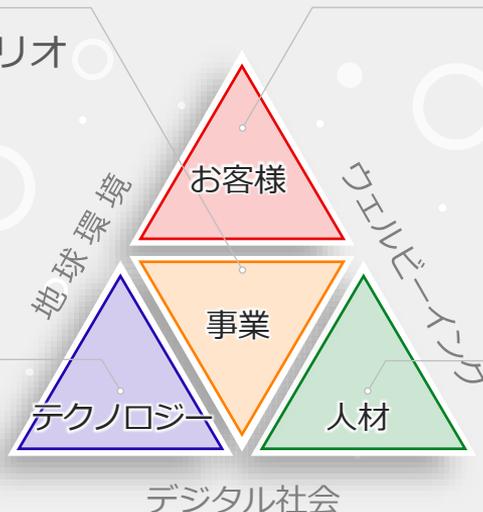
富士通の目指す姿を実現し、ステークホルダーへの提供価値を最大化するための重点戦略

事業モデル・ポートフォリオ戦略

- 事業セグメントと事業ポートフォリオ
- 成長領域へのシフト
- お客様エンゲージメントモデル

テクノロジー戦略

- コアテクノロジー強化
- ビジネス活用(価値提供強化)



カスタマサクセス戦略/地域戦略

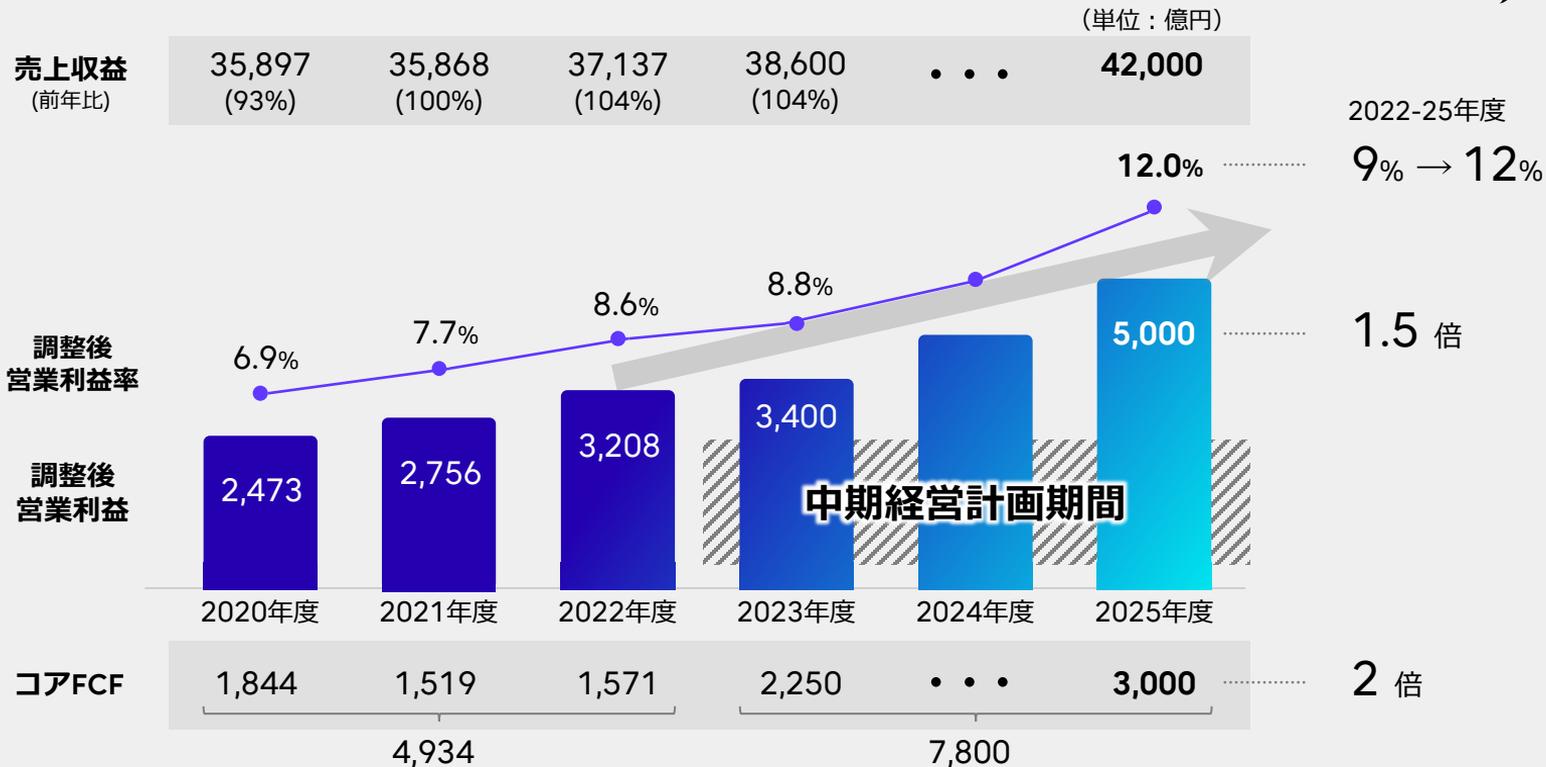
- コンサルティング拡充
- モダナイゼーション
- 海外ビジネスのサービスシフト
- 戦略的アライアンス
- お客様事業の一層の安定化

リソース戦略

- RoleのGlobal統一
- 生産性の向上(社員一人当たり)
- 経営基盤の強化

連結財務計画

※2023年5月24日中期経営計画発表時点



* 調整後営業利益: 営業利益から事業再編、事業構造改革、M&A等に伴う損益ならびに制度変更等による一過性の損益を控除した、本業での実質的な利益を示す指標 (従来、本業利益として表記していたものと同一)

** コアFCF: 事業再編、事業構造改革、M&A等に伴う一過性の収支を控除した、経常的なFCF

連結財務計画の進捗

売上・利益の成長計画はサービスソリューションが牽引

■ 売上収益 ■ 調整後営業利益 ● 調整後営業利益率

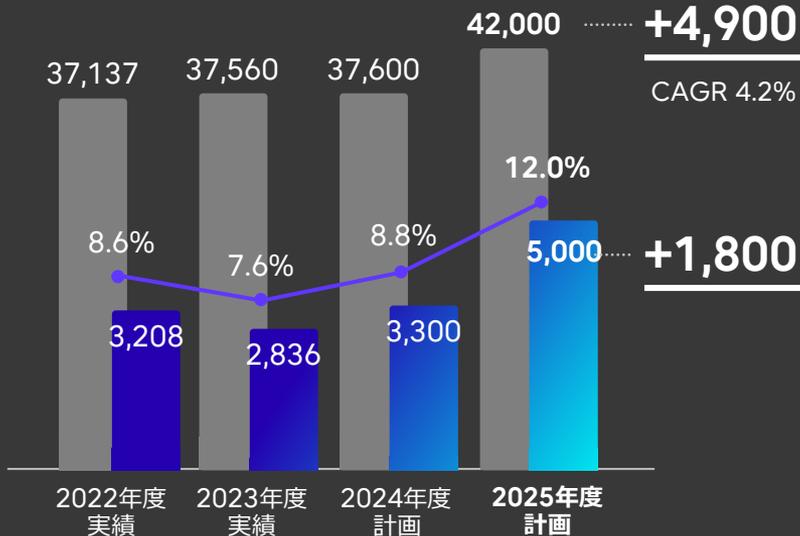
(単位：億円)

連結

2022-25年度

+4,900

CAGR 4.2%

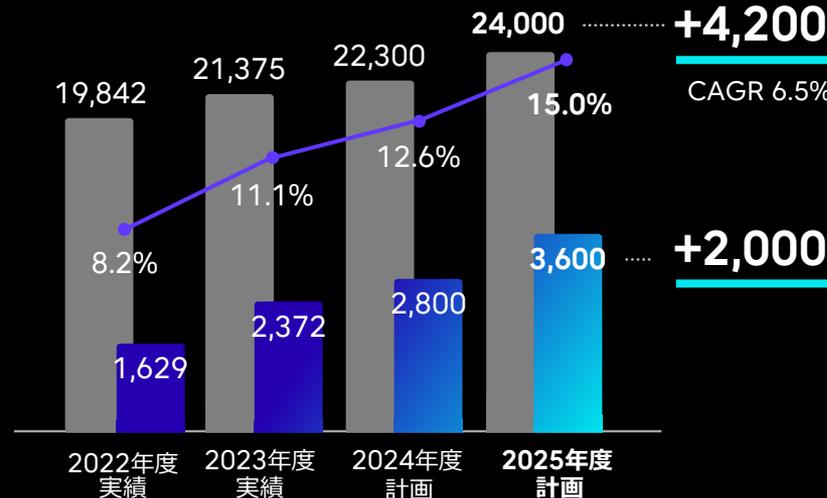


サービスソリューション

2022-25年度

+4,200

CAGR 6.5%



計画達成に向けた経営体制



時田 隆仁

代表取締役社長
CEO



磯部 武司

代表取締役副社長
CFO



**ヴィヴェック
マハジャン**

執行役員副社長 CTO、CPO、
システムプラットフォーム担当



高橋 美波

執行役員副社長 COO
(Fujitsu Uvance担当)



島津 めぐみ

執行役員副社長 COO
(サービスデリバリー担当)



大西 俊介

執行役員副社長 COO
(リージョン担当)、CRO

計画達成のドライバー 〈本日のポイント〉

サービスソリューション中期経営計画目標 (2025年度)

売上収益

2022年度
実績
2.0 \nearrow **2.4** 兆円
(+4,200億円)

調整後営業利益

2022年度
実績
1,600 \nearrow **3,600** 億円
(+2,000億円)

調整後営業利益率

2022年度
実績
8 \nearrow **15** %

モダナイゼーション

富士通のケイパビリティを結集した
モダナイゼーションの競争優位性

島津副社長



Fujitsu Uvance

Uvanceビジネスモデルへの変革と
リカーリングによる収益基盤の拡大

高橋副社長



コンサルティング

コンサルビジネス立上げによる
事業モデル変革と高収益ビジネスの実現

大西副社長



テクノロジー

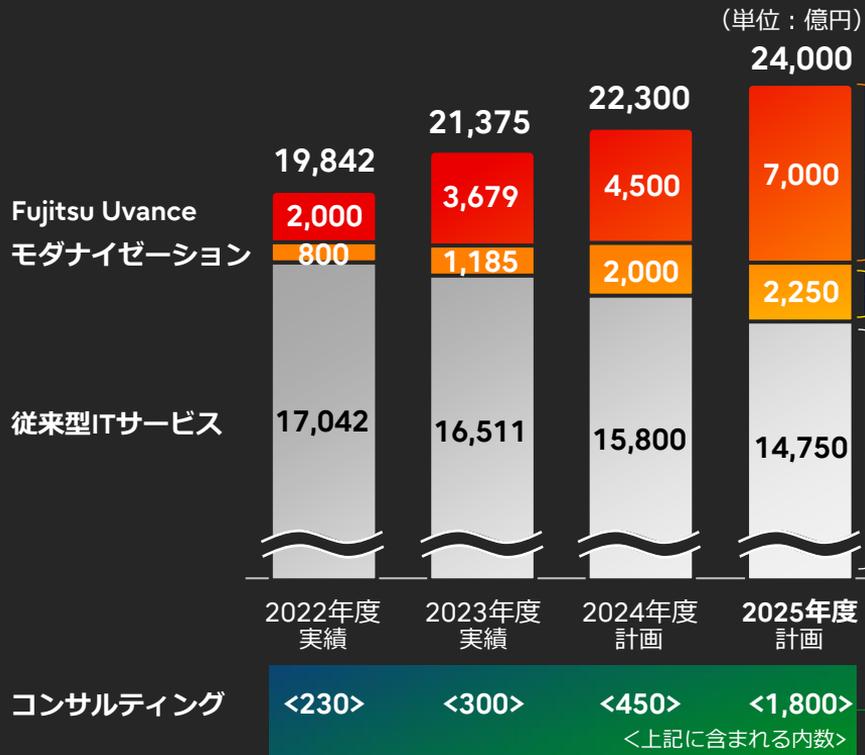
AIを軸とした5キーテクノロジー

マハジャン副社長



売上収益の成長とポートフォリオ

サービスソリューションの売上計画



ポートフォリオ (イメージ)



Thank you

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、オセアニア、中国を含むアジア)
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 技術開発競争による市場ポジションの変化
- 部品調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 不採算プロジェクト発生の可能性
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更